

2009年3月30日

記者各位

日本風力開発株式会社
出光興産株式会社

日本風力開発株式会社と出光興産株式会社の 「共同事業に関する協定書」締結に関するお知らせ

日本風力開発株式会社（本社：東京都港区、社長：塚脇 正幸）と出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：天坊 昭彦）は、風力発電事業を中心とした再生可能エネルギーへの両社の取り組み方針について「共同事業に関する協定書」（以下、「本協定」という。）を締結しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

1. 協定書締結の目的

人類の健やかなる繁栄が持続的に成し遂げられるための前提である地球環境の保全とエネルギー資源の多様化に対する両社共通する強い問題意識に基づいて、協力して取り組むテーマの選定と事業化の分野及び方向性について検討を重ねて参りました。その結果、風力をはじめとした再生可能エネルギーの開発を促進し、CO₂フリーのエネルギー供給を拡大していくことをテーマとして、具体的な事業化の分野と方向性につき、両社間で合意に至りました。今後、本協定に基づき、個々の案件の具体化及び検討を進めて行きます。

2. 本協定の内容

事業化の分野と方針は以下の（1）～（4）です。

（1）国内外における風力発電事業

国内外を問わず、風況調査などの開発初期段階から共同して発電所の開発を行うなど発電所建設を促進し、中長期的に相当規模の発電所ポートフォリオの運営を共同で行うことを検討して行きます。

ただし、風力発電に関連する法制度は流動的ですので、開発を進める国地域、投資金額やタイミングについては慎重に確認しながら決定して行きます。

（2）蓄電池併設風力発電所の運営

共同で出資・運営する蓄電池併設型風力発電事業については、当該発電所で発電される出力制御可能な電気を出資シェアを目安としてそれぞれ引き受け、それぞれの企業の戦略に基づき販売して行きます。

最初の共同出資プロジェクトとしては、現在、日本風力開発（株）の連結子会社である二又風力開発（株）の二又風力発電所（青森県上北郡）を対象としていますが、詳細は検討しています。

(3) O&M 関連事業の協業と事業開発

自社発電所の収益性向上を目的として、日本風力開発のメンテナンス技術・ノウハウに出光の潤滑油や設備保全のノウハウを融合することを検討して行きます。また、不採算事業の再生やコンサルティング事業への参入も検討して行きます。

(注) O&M … Operation & Maintenance の略。発電所の運転と補修のこと

(4) 風力以外の自然エネルギーの導入促進・開発

太陽熱発電、地熱発電、水力発電、波力発電およびバイオマス発電等の風力発電以外の自然エネルギー導入促進についても協業の可能性を検討して行きます。

3. 今後の見通し

現段階では明らかではありませんが、今後進捗に応じて決定又は発生した事実は速やかに開示いたします。

4. 当事会社の概要

【日本風力開発株式会社】

- (1) 商号：日本風力開発株式会社
- (2) 代表者：代表取締役社長 塚脇 正幸
- (3) 本社所在地：東京都港区新橋 2-5-5
- (4) 設立：1999年7月26日
- (5) 上場：東証マザーズ（証券コード 2766、2003年3月14日上場）
- (6) 資本金：71億1千8百万円（2008年12月末）
- (7) 売上高：105億2千2百万円（2008年3月末）
- (8) 従業員数：113名（2009年2月末）
- (9) 事業概要：風力発電所の建設と発電事業

【出光興産株式会社】

- (1) 商号：出光興産株式会社
- (2) 代表者：代表取締役社長 天坊 昭彦
- (3) 本社所在地：東京都千代田区丸の内 3-1-1
- (4) 設立：1940年3月30日（創業1911年6月20日）
- (5) 上場：東証一部（証券コード 5019、2006年10月24日上場）
- (6) 資本金：1,086億6百万円（2008年12月末）
- (7) 売上高：3兆8,642億6千3百万円（2008年3月末）
- (8) 従業員数：7,503名（2008年3月末）
- (9) 事業概要：石油精製と油脂製造・販売、石油、石炭、地熱その他鉱物資源の調査・開発並びに採取

以上

～ お問い合わせ先 ～

日本風力開発株式会社 管理部IR財務グループ(吉田) TEL:03-3519-7494
<http://www.jwd.co.jp/index.html>

出光興産株式会社 IR・広報室広報課(飯沼) TEL:03-3213-3115
<http://www.idemitsu.co.jp>